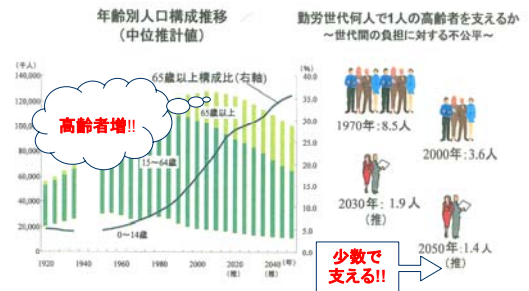
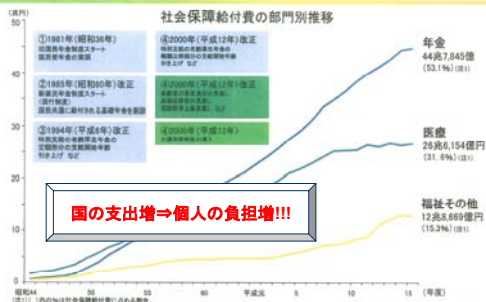


2007年度ワークショップ 資産運用塾第1回・2回おさらい

自分のことは自分で守る時代に：公的年金の現状と将来(イメージ図)



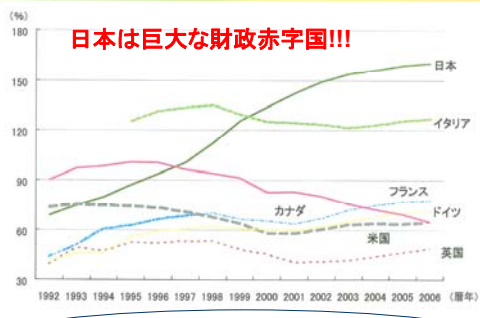
お金を取り巻く環境変化：＜財政問題＞社会保障給付費の推移



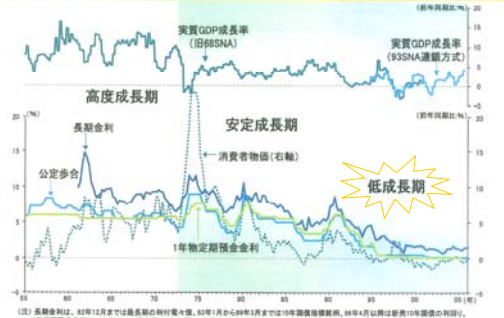
自分のことは自分で守る時代に：一般会計の収支と歳出、国債の発行額

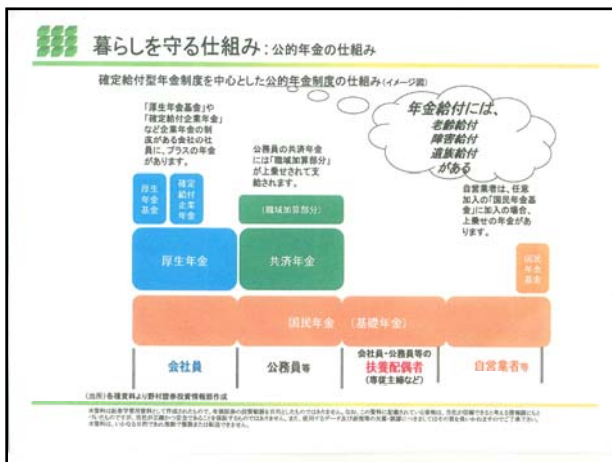
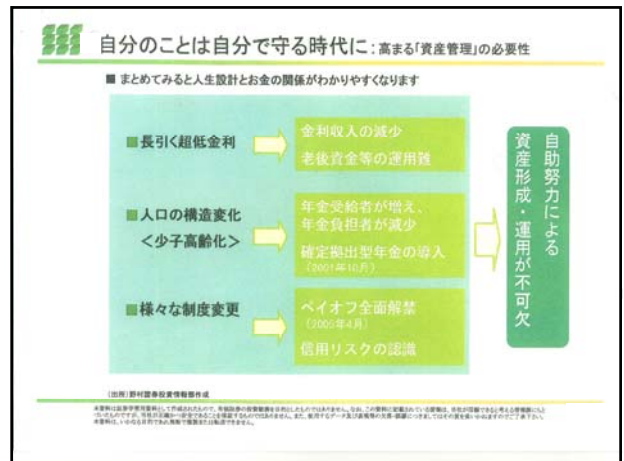
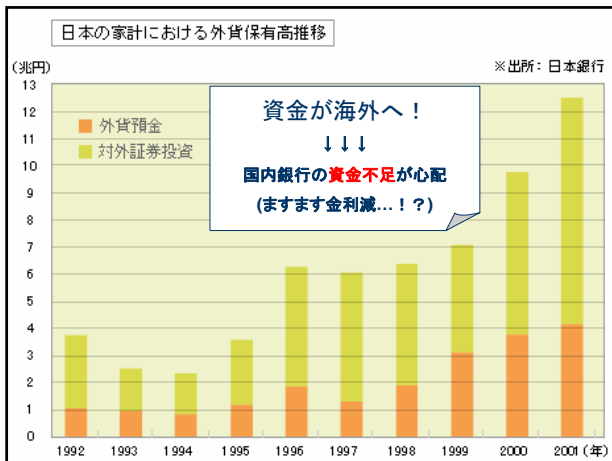


自分のことは自分で守る時代に：先進国の政府債務高比較(対GDP比)



自分のことは自分で守る時代に：低成長時代、低金利時代へ





遺族年金・障害給付の種類

	国民年金	厚生年金
遺族年金	遺族基礎年金 死亡一時金 寡婦年金	遺族厚生年金 中高齢寡婦年金 超過的寡婦加算
障害給付	障害基礎年金	障害厚生年金 障害手当

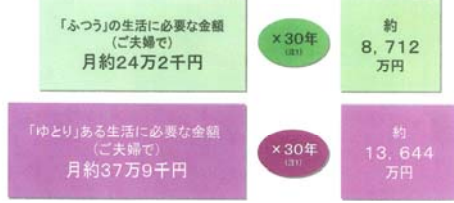
国民年金・厚生年金の負担額

国民年金		厚生年金
第1号	第3号	第2号
14,100円	負担額なし	報酬月額 × 14.642% + 賞与額 × 14.642%
毎年280円ずつ引き上げ		



暮らしの設計を考える：長寿社会の課題に迫る

セカンドライフの費用、今後の生活費はどのくらい必要なのでしょう？

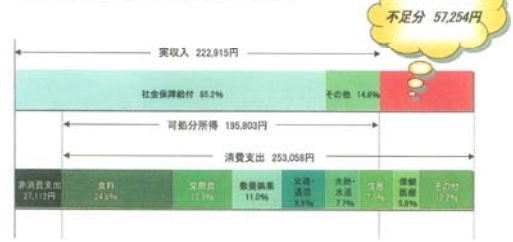


【注】1. 60歳からの人をセカンドライフと定義し、その期間を、90歳まで30年間とした。
2. 必要額の合計はインフレ率を考慮していない。
【出典】高齢福祉センター(生活費)に関する調査(平成16年)より野村證券投資情報部作成

※本図はあくまで参考情報として作成したもので、実際の生活費や資産運用の状況により大きく異なる可能性があります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。

暮らしの設計を考える：セカンドライフの費用

世帯主が60歳以上の無職世帯の月間収支(平成16年)



【注】消費支出中の「その他」は、「教育・娯楽・嗜好品」、「医療」、「その他」の消費支出に消費支出及び交通費を除いた合計としたもの
【出典】消費支出の世帯別調査(平成16年)より野村證券投資情報部作成

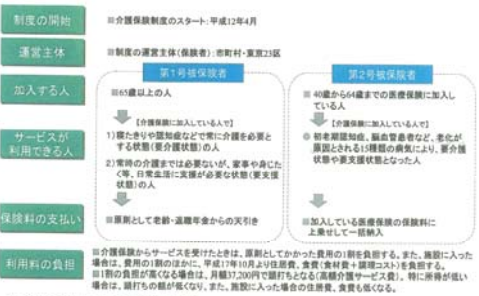
※本図はあくまで参考情報として作成したもので、実際の生活費や資産運用の状況により大きく異なる可能性があります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。

企業年金(退職金)の種類

確定年金	不確定年金
厚生年金基金	確定拠出年金 (個人型)(企業型)
適格退職年金	
確定給付年金 (規約型)(基金型)	
中小企業退職金共済制度	

暮らしを守る仕組み：介護保険について

介護制度のあらまし



【出典】高齢福祉センター(生活費)に関する調査(平成16年)より野村證券投資情報部作成

※本図はあくまで参考情報として作成したもので、実際の生活費や資産運用の状況により大きく異なる可能性があります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。

ライフプランニング：資産形成期と資産活用期(イメージ図)



【出典】高齢福祉センター(生活費)に関する調査(平成16年)より野村證券投資情報部作成

※本図はあくまで参考情報として作成したもので、実際の生活費や資産運用の状況により大きく異なる可能性があります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。

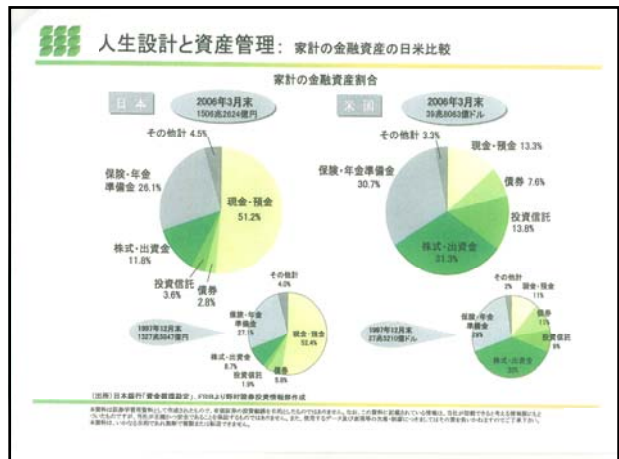
暮らしの設計を考える：現金収支(キャッシュフロー)表(一例)

現金収支(キャッシュフロー)表を下のようまとめでみるとお金の関係がわかりやすくなります

項目	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
高齢者の年齢	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳
子どもの年齢	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳
収入の合計	2,429	424	433	433	793	437
支出の合計	2,993	269	269	269	271	273
現金収支	-564	155	164	164	522	164
現金収支率	-23.2%	36.5%	37.9%	37.9%	65.8%	37.5%
収入の内訳	1.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
支出の内訳	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
収入の内訳	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
支出の内訳	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
収入の内訳	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
支出の内訳	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%

【出典】野村證券投資情報部作成

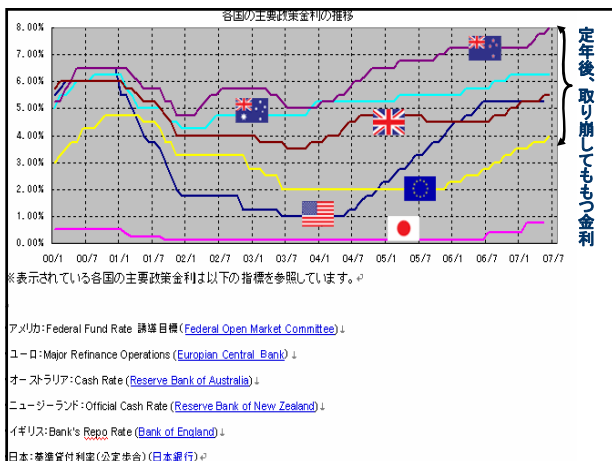
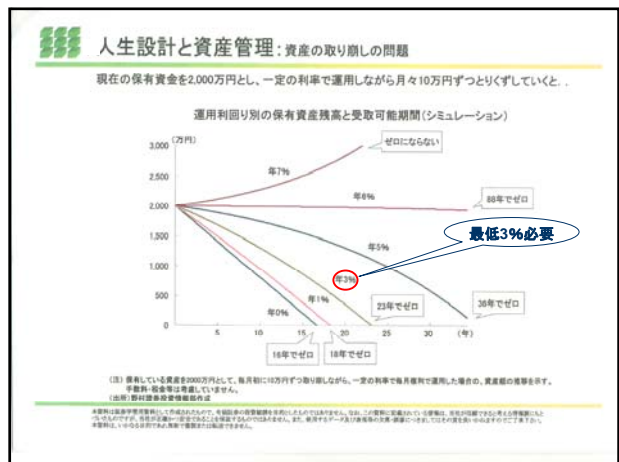
※本図はあくまで参考情報として作成したもので、実際の生活費や資産運用の状況により大きく異なる可能性があります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。また、異なるライフスタイルや資産運用の状況により必要額は大きく変わります。



人生設計と資産管理：家計の金融資産の日米比較

国	証券の割合
● 日本	18.2%
● 米国	52.7%

- ① 現金・預金 51.2%
- ② 保険・年金準備金 26.1%
- ③ 株式 11.8%
- ① 株式 31.3%
- ② 保険・年金準備金 30.7%
- ③ 投資信託 13.8%



参考文献・webサイト

- 昨年度証券講座野村証券配布資料
- 金融広報中央委員会HP
- <http://www.shiruporuto.jp/life/henkin/kigyoo/index.html>
- 社会保険庁HP
- <http://www.sia.go.jp/>
- 価格.com HP
- <http://kakaku.com/gaikadepo/hikaku.htm>
- 新生銀行「外貨運用サポート」HP
- http://www.shinseibank.com/fx_info/fx_sisanhozen_03.html